

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
臨床実習4						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名			実務経験
鍼灸学科・夜間部	3年	3・4期	大橋 理那・青木 春美			
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数
専門分野	臨床実習			実技	1	23
科目概要						
患者・施術者関係を構築するとともに、医療面接、全身の診察、検査法、施術など、時間配分を考え、基本的な施術行為を教員による指導・監督の下に学生が施術の介助を行う。						
目標						
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	鍼灸臨床の実践を通じて施術に必要な技術を身に付ける。 また、自身の持つ課題に気付き解決する姿勢を身に付ける。 時間配分が計画でき行える。					
	到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)					
医療面接、診察、検査法、施術の項目での時間配分が計画でき行える。 医療面接に必要な情報を得る事が出来る。 指導教員に指示した徒手検査を実施する事が出来る。 治療計画を立案できる。 指導教員の行う刺鍼、施灸の介助が出来る。 診療録(カルテ)を作成する事が出来る。						
履修に必要な予備知識や技能						
学習してきた内容						
教科書・参考書						
受講上の注意						
患者様の個人情報(カルテ)や、プライバシーへの配慮に注意すること。 衛生環境状、白衣で受講すること。						
成績評価方法						
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他 (合計)
評価割合(%)						出席数をもって単位を 100
回数	授業内容				教科書	教材・持ち物
第1回	付属施設にて実習を行います。 教員の指示のもと以下の様な内容を実施します。 医療面接、診察、検査法、施術の時間配分を考える。					
第2回	【医療面接】 ・傾聴、受容、共感ができる。					

令和4年度 授業計画書(シラバス)

第3回	<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を得ることができる。 		
第4回	【診察法】 <ul style="list-style-type: none"> 関節可動域を評価する。 患部を触診する。 徒手検査を行い評価する。 		
第5回	<ul style="list-style-type: none"> 舌診 脈診(脈状診・六部定位脈診) 腹診 		
第6回	【触診・取穴】 <ul style="list-style-type: none"> ランドマーク 		
第7回	<ul style="list-style-type: none"> 軟部組織(筋、腱、靭帯、脂肪組織など) 経絡経穴 		
第8回	【刺鍼技能】 <ul style="list-style-type: none"> ほぼ無痛で弾入切皮を行う。 指定された方向(角度)に刺入する。 		
第9回	<ul style="list-style-type: none"> 指定された深度に刺入する。 指定された補瀉手技を行う。 		
第10回	【施灸技能】 <ul style="list-style-type: none"> 適切な温度での透熱灸を行う。 適切な緩和処置を行う。 		
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			
第16回			
第17回			
第18回			
第19回			
第20回			
第21回			

令和4年度 授業計画書(シラバス)

第22回		
第23回		
実務経験と本講義との関連について		
メールアドレス		
ohashi@nihonisen.ac.jp		